

# 千葉県教育委員会 令和元年度「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業」

障害のある方への教育施策は特別支援学校等の学校教育の場を中心に展開してきたが、生涯を通じて学ぶことのできる環境の整備・充実が急務である。そこで、効果的な学習プログラムの開発やその実施体制の研究に取り組み、その成果を普及することで、県内全域にわたる学校卒業後における学びの充実を目指す。

## 学習プログラム開発

### 特別支援学校における取組

県立特別支援学校市川大野高等学園を拠点にして、「仲間と学ぶ、楽しむ、つながる」をキーワードに、卒業生や近隣在住の知的障害者を対象とした「生涯学習講座」を開催した。講座運営にあたっては、近隣住民や公民館、大学と連携し協働的に実践した。また、在校生、講座参加者を対象としたニーズ調査や生涯学習支援連絡協議会設置による内容検討をとおして、持続可能な運営の在り方について研究した。

【実施講座：講師】

- ①疲れをとるリンパマッサージ：健康運動指導士（公民館講師）
- ②「支援を受けながら暮らすとは？」：社会福祉法人市川レンコンの会
- ③グラウンドゴルフ：大野4丁目自治会緑風会
- ④パラスポーツ体験：順天堂大学



### さわやかちば県民プラザにおける取組

さわやかちば県民プラザ（県生涯学習センター）において、平成14年から青年教室を実施してきたが、受講者のニーズに応える形で、「さわやかおんがく隊」を結成し、演奏体験型の音楽ワークショップを実施した。ヘルマンハーブや大正琴、合唱など、参加者のニーズに沿って様々な音楽活動を展開。自主サークル化に向けて、保護者や地域住民を対象に指導者養成講座を実施し、学びの担い手の育成にも力を入れている。

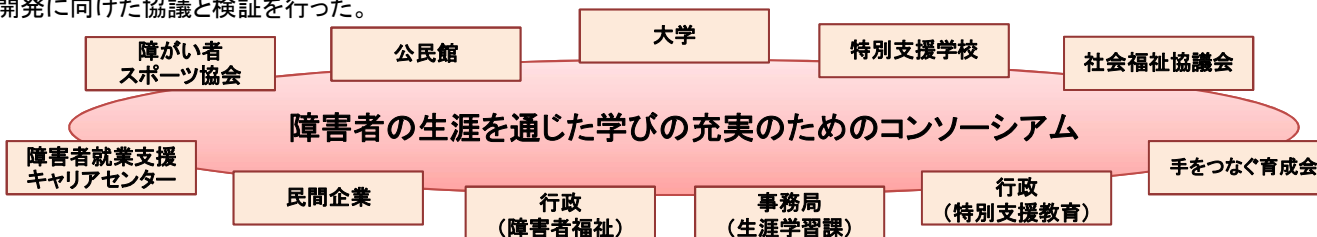
【活動内容】

- 年間20回のワークショップ
- 特別養護老人ホームでのコンサート
- ボランティア研修や指導者養成講座の実施
- 当事者によるリーダーの育成



## 連携体制の構築

関係団体代表者による連携組織としてコンソーシアムを設置し、年4回の会議を通して、先進事例研究や情報交換により連携体制の構築・強化を図るとともに、効果的な学習プログラムの開発に向けた協議と検証を行った。



## 成果の普及・啓発

### 障害者の生涯学習推進フォーラム

今年度の実践報告、楽器演奏や合唱などのコンサートを開催。『しゃべり場』では、「みんなで語ろう～共に学び、生きる社会を目指して～」をテーマに、関係者や来場者と繰り広げるディスカッションを通じて、共生社会に向けた障害者の生涯学習の在り方について探求した。



### 成果物作成・配布

1年間の研究報告書及び広報DVDを作成し、配付した。

### 各種会議・研修会の実施

各種会議や社会教育主事等の研修会において、障害のある方の学びの充実に関する研修を実施し、人材養成・育成を図ることで、県内全域にわたる普及を目指した。

ネットワーク  
構築強化による支援相談窓口としての機能の構成

県内全域における障害者の学びの場の拡大、担い手の育成

共生社会の実現